

社会教育委員会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 第3期第12回社会教育委員会 |
| 2 | 日 時 | 平成24年7月2日 午後2時から4時まで |
| 3 | 会 場 | 教育委員会第二庁舎大議室 |
| 4 | 出席者 | 小林善幸委員 中嶋三津子委員 小林彰委員 春原尚江委員 樋口克彦委員
西田力委員 竹田貴一委員 荒川玲子委員 |
| 5 | 市側出席者 | 浅野生涯学習課長、土屋文化振興課長、宮澤生涯学習課長補佐、中村生涯学習係
主査 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴者 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 24年 7月2日 |

協 議 事 項 等

- | | |
|---|------|
| 1 | 開 会 |
| 2 | あいさつ |
| 3 | 会議事項 |
- 進行の都合上、(1)と(3)の順番を変更
- (3) 上田市文化支援事業(二次募集)について
(事務局) 二次募集採択事業(案)1件について説明
(委員) 目的は、どのような団体なのか。聞いたことがない団体だが。
(事務局) 市民が実行委員会を組み、やってみたいことができる鑑賞事業のため、今回新たに結成された実行委員会、沖縄音楽を周知する目的。教育委員会は、共催で、ポスターチラシ等には、文化支援事業と明記し、広報掲載する。
承認。
- (1) 提言書の提出内容について
(事務局) 提言書の内容にもつながる6/15に行われた学社連携連絡会での意見交換等の内容について説明
(委員) 前回の話し合いを元に、「学社連携」と「キャリア教育」を2本の柱とした提言書について、それぞれ意見を述べてほしい。
- < ボランティアについて >
(委員) 「人材バンク」は、更新が課題
(委員) 年に1回は、必ず更新していくことを義務付けたらどうか。更新しないHPは、見なくなるのと同じで、信用性に欠ける。学校と公民館だけでなく、社会福祉協議会の情報も混ぜたらどうか。
(委員) 学校と公民館の情報交換の「場」をどうするか、どうやって具体的な場をつくっていくのか。
(委員) 必要に応じて話合うという柔軟なものの方がよい。堅苦しい場の設定は、動きが鈍くなる。
(委員) ボランティア養成講座は、ボランティア講座を受けていないと学校へ入れないというニュアンスに感じる。
(委員) 継続していく上では、ボランティアとは何か、必要な学び、実地を受けてから学校に入っていくのが基本。
(委員) できるときにできることを行うのがボランティア。決まりごとがあると、受け手がいなくなるのでは。
(委員) 学校支援という明確な目的があるボランティアなので、子ども達の現状や学校の状況など、把握して入ってもらいたい。望ましい。
(委員) 一般的には、学校に入りにくい、という市民の声が多い。水くれなら自分にもできるというように、(西部公民館のような)講座を設けてもらったほうが、支援する人が増えると思う。
(委員) いろいろな形があってよい。これだけ、という限定をすれば、対象者はきわめて少なくなる。
(委員) 公民館が地域の人材の発掘、情報収集を行っていくことで、学校は新たな可能性が広がるのでは。学校が知らない潜在的なニーズ、マッチングも必要。
(委員) 学校のニーズに合っていないと意味がない。支援が欲しいという学校の要望に合ったボランティアの配置が必要。
(委員) 登録している人の社会的信用度、意欲があればいいわけではない。

(事務局) 公募をするわけではなく、学校・公民館で利用した講師一覧をまとめたい。

<コーディネータについて>

(委員) 地域の人材バンクがしっかりできれば、コーディネータが必要ないのでは。

(事務局) コーディネータがいないと無理。学校は調整に苦労している。

(委員) 何度電話をかけても出ない、お目当ての人にたどり着かないなど、リストだけでは把握できず、苦労してあきらめてしまう例も多い。

(委員) 公民館職員には、学校のことは仕事外という雰囲気もある。

(委員) 公民館の新しい任務として、「学社連携」を認知してもらうことが必要。教育基本法の改正にもあるように、学校の要望がなくても、地域の人材の発掘、学校と地域をつなぐ任務がある。

(委員) 公民館職員は、コーディネータでもあり、コーディネータを育成するという両方の役割がある。

<キャリア教育について>

(委員) 職場体験 = キャリア教育ではない。すでに学校教育では、全ての教育をキャリア教育の視点から見直しており、公民館や青少年育成事業等でも見直していくという視点が大事。

(2) 青少年育成推進組織について

(事務局) 青少年の育成にかかわる組織は、たくさんあるが、横の連携がとれていない。青少年育成推進指導員を見直し、今後は、組織の連携を優先させていきたい。

(委員) 事務局の考えを明らかにし、連携を深めていってほしい。

(4) その他

(事務局) 教育委員会事務局体制の改革のその後について、第二期集中改革プラン、第二次上田市行財政改革大綱、アクションプログラムについて説明。

4 その他

(事務局) 8月末の第3期の委員の任期満了により、委員4名が退任となる。

8月23日の教育委員との懇談会が最後の会議となる。継続者は9月に入ってから第1回会議をお願いしたい。

(委員) 公民館、図書館の整備等、生涯学習の整備がめざましい一年だった。残る委員は、今後とも歴史ある上田市の社会教育・生涯学習の伝統を守り、推進にご尽力いただきたい。

(今後の予定)

・ 次回社会教育委員会(教育委員との懇談会) 8/23(木) 16:00~教育委員会やぐら下庁舎

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。